

様式第4号（第15条関係）

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

令和3年度第1回美里町近代文学館運営審議会

2 開催日時 令和3年6月29日（火） 午後1時30分

3 開催場所 美里町近代文学館 視聴覚会議室

4 会議に出席した者

（1）委 員

小嶋 恵美子委員 小野 久美子委員 渡邊 智佳子委員
木田 真由美委員 佐藤 喜美代委員 大町 龍一委員

（2）事務局

美里町教育委員会教育長 大友 義孝
教育次長兼教育総務課長兼学校教育環境整備室長兼近代文学館長兼
小牛田図書館長 佐藤 功太郎
教育総務課課長補佐兼南郷図書館長 草刈 明美
近代文学館 主幹 早坂 晴美
近代文学館 主事 佐藤 知也

5 会議を欠席した者

鈴木 正樹委員長 小野 ゆかり委員 中舘 典子委員 志摩 勝彦委員

6 議題及び会議の公開・非公開の別

（1）議題

- ① 署名委員指名
- ② 令和2年度事業報告について
- ③ 令和3年度事業計画について
- ④ その他

（2）会議の公開・非公開の別

公開

7 非公開の理由

8 傍聴人の人数
0人

9 会議資料
別紙のとおり

10 会議の概要

(1) 署名委員指名

小嶋恵美子委員と佐藤喜美代委員の2名とした。

(2) 令和2年度事業報告について

館内行事、館外サービス、施設見学、町民ギャラリー企画展、視聴覚会議室利用講座及び体験研修受入の実績について、事務局から報告を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した事業が多くあった。

(3) 令和3年度事業計画について

図書館行事、視聴覚会議室利用講座及び町民ギャラリー企画展の計画について、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しながら事業を実施していく旨事務局から説明を行った。

(4) 近代文学館要覧について

要覧について、事務局側から利用者人数や本の貸出や返却等の数について説明した。適宜修正する箇所もあるので、その旨修正することとした。

(5) 意見の詳細

別紙のとおり。

【午後１時３０分 開会】

事務局 (草刈館長)	それでは定刻となりましたので、只今から、令和３年度第１回美里町近代文学館運営審議会を行います。それでは、委嘱状の交付なのですが、南郷中学校の小野校長が本日都合が悪く欠席とのことですので、委嘱状の交付は割愛させていただき、挨拶に移りたいと思います。委員長ご挨拶をお願いします。
木田副委員長	臨時に議長を務めさせていただきます副委員長の木田でございます。コロナも少しは落ち着いてきたところです。近代文学館がますます利用しやすい地域に根差した図書館になるよう皆さんの知恵を拝借したいと思います。どうぞよろしくお願いします。
教育長	【教育長あいさつ】
事務局 (草刈館長)	それでは、署名委員になりますが、昨年度署名委員を渡邊委員と志摩委員に引き受けていただきましたので、今回小嶋委員と佐藤委員にお願いしたいのですが、こちらの方からお願いしてもよろしいでしょうか。
小嶋委員 佐藤委員	はい。
木田副委員長	よろしくお願いいたします。
事務局 (草刈館長)	はい、それでは協議に入ります。ここからは、木田副委員長から進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。
木田副委員長	では協議に入らせていただきます。どうぞ皆さん遠慮なく、ご意見をお願いします。では、(１)の令和２年度事業報告についてお願いします。
事務局 (早坂主幹)	【令和２年度事業報告について説明】
木田副委員長	では、今の報告内容について質問等ありませんか。よろしいでしょうか。続いて、令和３年度事業計画についてお願いします。
事務局 (草刈館長)	【令和３年度事業計画について説明】
木田副委員長	よろしいでしょうか。ではご質問があればお願いします。いかがでしょうか。では私から質問です。実施判断の基準をどのようにお考えでしょうか。
事務局 (草刈館長)	町全体で、コロナの対策をしておりますので、そちらの判断を基準としております。美里町だけではなく県内や大崎市等

	の状況も見ながら考えていきたいと思っております。おはなし会自体も以前ですと、50人、100人規模で行っていたところを、例えば縮小して、10人や20人等の人数制限にしながら、開催することも可能かと思います。ですが、私たち自身も判断がつかないというところがあります。ラインを決めるというのは、図書館だけでは難しいところです。
木田副委員長	例えば、国ですとイベントは5,000人上限や、会場半分、定員半分等などという決め方をしています。そういったところは全部コロナ対策室がとるということでしょうか。
事務局 (草刈館長)	判断について慎重になっていると思います。図書館の利用者は子供や高齢者等が多く、どのくらいの人数制限にするかどうかは難しいところです。大きなイベントを行っている図書館はありません。10人ほどのところで動いているところが多いので、そういったところを参考にしながら行っているところです。
木田副委員長	町は町でこういう基準で行ってますというものを打ち出したほうが良いのではないのでしょうか。仙台市の状況と美里町の状況は違います。他を見ていたらいつまでたっても何もできないということになるので、コロナ対策室と相談して本図書館においてはこういった基準でこうなったらこうします、通常通り行いますというようなガイドラインをそろそろ設けておいたほうが行いやすいのではないのかなと思います。利用者のこと、町民のみなさんのことを考えたら、やはり町独自のガイドラインや基準をそろそろ考えておいたほうがいいのではないか。そうでなければ、いつまでたっても何もできませんよねということになりかねないような気がしました。
教育長	よろしいですか。今、木田副委員長の話はもっともだと思います。確かにステージ2とかステージ3とか分かれて施設の半分はいいですよとする基準はあるのですが、それは施設の基準であって、行事の基準ではないのですね。いま木田副委員長がおっしゃられるような必要性というのは当然出てきていると思っております。今も、館の閉鎖や休館という部分についてはコロナ対策本部会議の中でいろいろ協議させていただいておりまして、その中で行ってきたわけですがけれども、最近それぞれの住民の皆さんが行政区でもいろいろな行事を持っているわけです。それから、町で持つ例えば防災訓練等そういつ

	た各種行事も先が見通せないなので、地域で動く行事予定が組みにくいといった声も頂戴しておりまして、それを総括して今年度どういうふうに行っていくかということを考える時期が来ていると思います。タイミングを持ちながら、今年3月までの予定を組み立てていく、そして行政区長にご協力をいただきながら周知をしていかなければならないという状況になっております。今のご意見を頂戴しまして、本部会議の中でもそういった話をしていきたいと思います。
木田副委員長	その他いかがでしょうか。事業計画についてありますでしょうか。
小嶋委員	スペシャルおはなし会、冬のスペシャルおはなし会について令和元年度を見ると結構な人数で行ってます。去年は中止になったとなると、おはなし会を一日だけで済ませるのではなく、少人数にして行う方向で物事の行事を作っていたほうがいいと思います。
木田副委員長	事務局いかがでしょうか。
事務局 (草刈館長)	実は昨年度の「図書館まつりウィーク」がその考えの通りでして、以前までは一日で図書館まつりを行ってきましたが、令和2年度は2週間とし、密にならないような形で行いました。事業報告でありますとおり、参加者がかなり多く増えたことでもありますので、小嶋委員さんのご意見も頂戴しつつ、事業の形態もそういった少し変えながら実施していきたいと思います。
木田副委員長	はい、ぜひご検討いただきたいと思います。 その他いかがでしょうか。よろしいですか。では、(3)の近代文学館要覧についてお願いいたします。
事務局 (草刈館長)	【近代文学館要覧について説明】
事務局 (佐藤主事)	【近代文学館要覧について訂正事項説明】
事務局 (草刈館長)	【近代文学館要覧について説明】
木田副委員長	ではご質問、ご意見を受け付けていきたいと思います。まずページを区切って昨年度まで変わらない1ページから8ページまでのところで何かお気づきの点ございますか。ここはよろしいですか。では、私からお願いします。9ページの組織構

	成のところで、30ページの美里の教育のほうで、近代文学館は教育機関のところに入っていて、教育総務課のほうには入っていません。こういうところで、齟齬があるのはよくないかなと思います。それから、要覧の見栄えを直していただきたいかなと思います。また、職員構成のところについても修正をお願いします。では11ページからの資料状況についてなにかありますでしょうか。また、細かいところですが、美術品所蔵目録の作者名がデコボコなので、フォントの大きさについて揃えたほうがいいのではないかと思います。では、13ページ、14ページについていかがでしょうか。去年度と比べてみると、13ページ下の(2)の登録者数が増えてますね。貸出冊数は減っているのに、登録者数が増えている理由は何でしょうか。
事務局 (草刈館長)	新規の登録者数なのですが、本来ですと、利用されていない利用者也併せて削除等をしなければならないところですが、ここ何年か削除していないところがあったので、今回は利用期限が過ぎている人も含めた数字になっているので、若干増えているところであります。
木田副委員長	地区別の小牛田、不動堂、北浦、小牛田のほうが150ぐらい増えてますよね。
事務局 (草刈館長)	はい。
木田副委員長	ここが結構大きいかなと思います。
事務局 (草刈館長)	あとは、お子さんの登録もあるので、そういったところで増えているところです。
木田副委員長	それが貸出冊数につながらないところが辛いかなと思いました。いかがでしょうか。28ページ、ベストリーダーからいかがでしょうか。 昨年と比べて、スペースが多いので、もうちょっと詰めて、紙の節約をお願いできればと思います。よろしいですか。次は30ページの美里町の出来事について、これは大崎タイムスに声掛けをして、取材してもらっているということですか。
事務局 (草刈館長)	情報は流しています。
木田副委員長	情報を流しているのは、大崎タイムスと、河北新報社ですか。

事務局 (草刈館長)	はい。
木田副委員長	では31ページ以降は、条例規則になりますが、ありますでしょうか。ご質問、ご意見ある方よろしいでしょうか。要覧について以上でよろしいでしょうか。では、今までのところで見落とし、ご意見等ありましたでしょうか。では、またお気づきになったときにはご意見ください。(4)のその他で、どうぞ委員方1人ずつ、なにか1年間小牛田図書館、南郷図書館をご利用になっての感想等も含めてお聞かせいただけたらと思います。そしてぜひ、今年は期待したいことがありましたら、お話しいただけたらと思います。
渡邊委員	本の検索ですが、パソコンで調べる際、本棚に行って探しても無いのですね。そして、図書館の方に声掛けすると、奥のほうにあるかもしれないので、お待ちくださいということで、中のほうに入って行って、書庫から出してきて、はい、どうぞということが2回ほどあったんですね。古い本ですか。そういう本は、パソコンになにか表示されますか。
事務局 (草刈館長)	場所が表示されます。表に出てないところで、「閉架書庫」、「児童書庫」というものがあるので、もしかすると、子供の本ですと、分かりづらいかもしれませんがある場所は表示されると思います。後で確認をさせていただきます。
渡邊委員	はい。あともう1つ要望ですが、平成2年度の事業計画のところで、3月に「ボランティア育成講座」というものがあり、私参加させていただいたのですけれども、大変勉強になったので、今年もぜひ大々的にはなくてよいので、もし、そういうのがあればいいなと思っていました。ぜひお願いします。
事務局 (草刈館長)	その後「おひざにだっこ」の皆さんで活動につながっていかれたということで、作り方とかですね。
渡邊委員	ではなくて、定例会の時に紹介して、今度、もしスペシャルおはなし会等復活したらやろうねという話にはなっています。
事務局 (草刈館長)	はい、わかりました。こちらのほうもそういうお声をいただいたので、頑張りたいと思います。ありがとうございます。
木田副委員長	ありがとうございました。あとどなたかありませんか。大橋委員から、何か感想等あればお願いします。
大橋委員	もう少し図書館に行けるような考え、日常生活で図書館に

	行こうとする気持ちがないので、図書館でやっていることを広げられるというか、そういうものがあればいいと思います。
木田副委員長	情報発信であるとかイベント計画とかでしょうか。
大橋委員	はい。
木田副委員長	とのご意見をいただきました。コロナ対策との抱き合わせといったところでしょうか。では佐藤委員いかがでしょうか。
佐藤委員	こういう機会があるということを得て、今回申し込みをしました。一応自分の持っている本とかですね、傷んでないものがあつたら、差し上げたいなと思っているのですが、なかなか書庫の関係で要らないと言われます。ですが、それでも一冊だけ引き受けていただきました。パソコンやスマホで物を判断するのは、なかなかついていけない年代なので、文字で物を知るということも大事ではないのかなと、この頃感じています。そういう風な機会を子供たちに体で体験する機会はないのかなと思っています。
木田副委員長	子供たちへのご意見ですがどうでしょうか。
事務局 (草刈館長)	確かに子供たちはネットで情報収集するケースが多いと思います。しかし、情報の広さからすると本のほうが多く拾えます。本は開いたページに知らないことがたくさん書いてあるので佐藤委員がおっしゃられたように文字の力というのはすごく大きいなと思います。先ほども申し上げましたが、今回児童書の収集を手厚く行いました。また、古い本を活用するということで、「ひと箱古本市」も開催しました。初めてのことで、制限もありましたが、今回第1回目を行ったということで、それを経験しつつ、今後もこういったことを行っていきたいと思います。みなさんからご協力をいただき、ご意見も頂きながら対応していきたいと思っています。
木田副委員長	では、渡辺委員どうでしょうか。
渡辺委員	私は、読みきかせのボランティアを行っていますが、読み聞かせのボランティアも不足しているので、新しいボランティア向けに講座も行っていただけたらと思います。あと、中学生の学力が低下しているので、その原因の一つとして、読書離れもあるのではないかと思いますので、中学校でもブックトークを行っていただければと思います。
事務局	読み聞かせのボランティアに関しては、令和2年度はボラ

(草刈館長)	ンティアグループを対象に行ったことで、一般向けには行いませんでした。養成講座の初級者講座みたいな形でボランティア養成講座を行うのも考えられるかと思いますので、初めて読み聞かせをするという人向けの講座もあわせて考えていきたいと思います。ブックトークに関しましても、今小学校に関しては、小牛田地区では学校の図書館まつりの時に行っており、南郷に関しては定期的に朝の読み聞かせの時にブックトークを行っているところなのですが、中学校ではこれまでほとんど経験がありません。ブックトークこそ、中学校の子供たちに向けてすごく良いものかなと思っておりますので、こちらのほうからも先生方と今度勉強会等を計画しているところもありますので、ブックトークでこういうことを行う旨も案内しつつ、中学校への PR 等も行っていきたいと思います。
木田副委員長	読み聞かせのボランティアを増やしてほしいということですか。
渡邊委員	高齢者の方が多いので、もう辞めたいという方も増えています。
木田副委員長	ボランティアというのは、本来は自発的なものであり、そこを図書館で育成するのか、又は既成のボランティアグループがボランティアメンバー募集中みたいなことをして行うかですよね。どんな読み聞かせボランティアがあるのか全然分からないですよね。個別に募集するのではなく、興味のある方はここに連絡をしてくださいみたいなポスターを各ボランティアグループで、作って貼っておけば、これを近くの方、同じ小学校区内だから興味を持っていただける方がいるのではないのでしょうか。オープンにしないかぎり誰も存在すら知らないと思います。
渡邊委員	今の状況で、私も小牛田図書館の方で行っているのですが、ボランティアが多くても、逆に今度困るといいますか、分担制にして月 1 回ずつ出ることにして、1 人か 2 人で、それでちょうどいいのですね。例えば、募集をかけるとなると、多く集まられても、来ても何もすることがないので、コロナが終わってからの方が、良いと思っています。今の状況で貼って来てくださいというのはどうかなと思います。
事務局 (草刈館長)	ボランティアのグループによって内情が違うのかなと思います。

渡邊委員	都合が悪くて、来られなかったときは図書館の職員が行っています。
木田副委員長	図書館でボランティアを募集してますみたいなポスターを作ってぜひぜひお願いします。
事務局 (草刈館長)	ボランティアのご意見を伺いつつ、やっぱりそれに合わせたものを図書館でも提供していきたいと思います。
木田副委員長	ありがとうございました。
木田副委員長	では、小野委員なにかありますか。
小野委員	とくにないです。
木田副委員長	小嶋委員なにかありますか。
小嶋委員	私は、日常あまり図書館に来ておりません。運営委員となって、こちらに来て図書館の内情、いろいろな仕事があることを勉強させていただきました。図書館に来て本を読むという時間がまだつかめず、毎回今度ゆっくり本を読むのが夢ですと言って終わっているのですが、去年も読む時間はありませんでした。今南郷の方で朗読のボランティアをしたいと思っています。いきいきキッズなんかで、読み聞かせに来てくださって、それで聞いていたこともありました。そういう機会があれば、図書館に足を運ぶ機会があると思います。広報等で周知されているとは思いますが、見ていない方が多いと思います。なので、たまたまここに入ったから、いろいろな活動が分かるようなもので、実際入ってなければ、分からないのが実情かなと思います。
木田副委員長	何か行いたいなと思うのがありましたらどうぞ。
小嶋委員	勉強させてもらえば、行ってみようかなという気も出てくるのかなと思います。
木田副委員長	ぜひ。良かったですね。
木田副委員長	では、いいですか。蔵書数はこれ以上増やせないのですか。寄贈したいという場合はどうですか。
事務局 (草刈館長)	そうですね。蔵書数は、今かなり窮屈です。保管場所に問題があります。
木田副委員長	去年もお話した気がするのですが、昔小牛田駅にご自由にどうぞといって古い文庫本を置いておいた時代がありました。ご自由にどうぞみたいな古本の活用もいいのかなと思いました。また、古本市で交流を目指すと言ってましたが、古本市は別に交流せずともいいのではないかと私は思っているの

	で、欲しい人が、看板をつけて、こういう感じの方がこういう本を出しているのだなと感じながら自由に見られるというか、去年はいくらでしたでしょうか。
事務局 (草刈館長)	数は設定していないと思います。
木田副委員長	出品数が少ないので、名前を変えて2箱出しました。また冬に展示してもらえればと思います。
事務局 (草刈館長)	今回2年度の分に関しては、初めての試みで、次の改善点等も見えてくると思いますので、今の意見を参考にしつつ、本年度もおそらく行うと思いますので、その時に反映させたものにしたいと思います。
木田副委員長	古本市をどんどん行っていただければと思います。ですが、ネックは二階まで行って見るかということですね。本当に好きな人ではないと見ないのかなと強く感じました。その他、何かみなさんご意見等聞きながら、思ったこと、ご自由にフリートークをお願いします。
佐藤委員	自由にお持ちくださいというコーナーを作り、コーナーにあった本と自分の本を入れ替えて持って帰るということも考えられないかなと思いました。入口のところでもいいから置くと、私みたいな人でも入ってくるのかなと思います。今すぐ成功するとは思いませんが、買ってまで読みたい人は今少ないのではないかと思いますので、読みたい本がここにあった、では読ませてもらおうかとする動機づけになるような考えをもっと勧めることも必要なのではないかと思いました。
木田副委員長	それで思ったのですが、コミセンは結構利用されてますよね。ちょっとしたスペースのところに自由交換な本で、こっちで除籍したような本でも置いておいて、あとここに寄付してください、読まなくなった本をここに自由に置いてください、欲しい方は持っていてください等のスペースを設けることができるのではないかと思います。コミセンだったら大丈夫ですか。
事務局 (草刈館長)	コミュニティーセンターでは、図書館の本が置いてあり、貸出等もできます。ただ、今おっしゃられたように、自分の物として持っていくというような取り組みは行っていないので、そういったところはまちづくり推進課や、コミュニティーセンターのほう等、可能であれば、話をしてみたいと思います。

木田副委員長	あとはいかがでしょうか。もうよろしいですか。フリートーク等できれば、情報交換等も兼ねてお願いします。 文庫以外の本では、振ってあるのと、振ってないものがあるので、シリーズものに番号を振っておいてもらおうと、すごくありがたいなと思います。
事務局 (草刈館長)	番号を付けるようにはしていたんですが、抜けてるところもあるかと思うので、確認したいと思います。
木田副委員長	戻すときに担当の司書も戻しやすいかなと思いました。皆さん本当にこれでよろしいですか。ここで、一時間を過ぎましたので、閉会とし、協議を終了いたします。事務局お願いいたします。
事務局 (草刈館長)	それでは、令和3年度第一回美里町近代文学館運営審議会をこれにて終了させていただきます。今日は皆さまどうもありがとうございました。

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 年 月 日

委 員

委 員